

福祉サービス第三者評価結果

事業所名 伊勢原市 比々多保育園

発効：平成27年3月30日（平成30年3月29日まで有効）

公益社団法人神奈川県社会福祉士会

公益社団法人神奈川県社会福祉士会 第三者評価結果

事業所基本事項

フリガナ	イセハラシ ヒビタホイクエン
事業所名 (正式名称を記載)	伊勢原市 比々多保育園
事業所種別	保育所
事業所住所 最寄駅	〒259 - 1104 伊勢原市坪ノ内 80-1 小田急線 鶴巻温泉駅下車 車で 10 分
事業所電話番号	0463-93-1390
事業所 FAX 番号	0463-95-4448
事業所代表者名	役職名 園 長 氏 名 佐藤千鶴子
法人名及び 法人代表者名	法 人 名 社会福祉法人 光が丘福祉会 法人代表者氏名 理事長 井田喜美子
URL	
e-mail	hibita1@circus.ocn.ne.jp
問合せ対応時間	8:30 ~17:30

事業所の概要 1

開設年月日	昭和 49 年 4 月 1 日 (平成 24 年度より伊勢原市から指定管理受託)
定員数	120 名
都市計画法上の用途地域	
建物構造	鉄骨コンクリート造 2 階建
面積	敷地面積 (2,615) m ² 延床面積 (1,134) m ²

事業所の概要 2 (職員の概要)

総職員数	34 名
うち、次の職種に該当する職員数	園 長 (1 名) 保育士 (26 名) 保健師・看護師 (0 名) 栄養士 (1 名) その他 (事務員 2 名、調理員 5 名)

事業所の概要 3 (受入・利用可能サービスの概要)

受入年齢	生後 5 ヶ月～小学校就学未満	
延長保育の実施	有 ・ 無	備考：平日 7:00~19:30、土 7:00~18:30
休日保育の実施	有 ・ 無	備考：
一時保育の実施	有 ・ 無	備考：一時預り保育、特定保育
障害児保育の実施	有 ・ 無	備考：療育手帳保持 2 名、すこやか園通園 6 名
病後児保育の実施	有 ・ 無	備考：

保育の方針

<ul style="list-style-type: none"> ・人とのかかわりの中で、思いやりや自主性など自ら生きる力の基礎を養う ・様々な体験を通して、豊かな感受性を育て創造性の芽生えを養う
--

公益社団法人神奈川県社会福祉士会 第三者評価結果

1. 総合コメント

総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善を要する点）

保育園の概要：

伊勢原市比々多保育園は、小田急小田原線鶴巻温泉駅から車で10分の畑が点在する住宅地にある。伊勢原市立保育園として昭和49年4月1日に開設され、1年間の移行期間を経て平成24年4月1日から、市内で保育園を運営する社会福祉法人光が丘福祉会が指定管理者として運営している。保育が行われている2階建の建物では、保育園以外に子育てひろばなど子育て支援事業も実施されており、複合施設の中で園が運営されている。定員は120名で、調査実施時点での内訳は0歳児が10名、1歳児23名、2歳児19名、3歳児19名、4歳児26名、5歳児22名で、24名の保育士も含め34名職員により運営されている。保育理念に「児童福祉法に基づき、子ども一人ひとりを大切に、保護者とともに子どもたちの健やかな成長発達を支える保育園」を掲げ、世代間、異年齢の人たちとの出会いを大切に、やさしさ思いやりのある豊かな心を育てる保育を目指している。

優れている点・独自に取り組んでいる点：

1. 使いやすい構造上の工夫

クラス毎に仕切られ独立した保育室で保育が行われているが、建物の構造が工夫されており、採光や換気が行き届いている。また、持ち帰りの手荷物とタオルなど汚れ物を置く場所それぞれが、園児ごとに保育室と廊下の両面から出し入れできる構造となっており、保育室に入らなくても廊下側から荷物を取り出せるなど工夫されている。子育て支援事業なども行っている複合施設で、誰もが使えるよう清掃がなされている。保育園スペースに入る手前の玄関ロビーにもトイレがあり、保護者など来園者が自由に使用できる。

2. 保護者との情報共有

家庭との連絡・情報交換は、「連絡帳」「出席ノート」「おたより」「園だより」のほか、送迎時に保護者が確認できるように、その日の様子や連絡事項をクラス毎のクラスボードに掲示して保育状況を知らせるなど、連絡を密にしている。その結果、指定管理者として運営を受託して以降、保護者の園運営に対する関心が少しずつ高まり、年1回のクラス懇談会及び保育参加の参加者が増える傾向にある。

3. 異年齢交流

オープン保育をうたってはいるが、指定管理者として運営を受託して以降、以前に引き続き異年齢児との交流に力を入れている。日常生活の中で年齢の高い子が低い子の階段の登り降りを手伝ったり一緒に散歩に行ったり、また当番として体操の時に皆の手本になったり午睡時の1,3,4歳児寝かしつけ、3歳,4歳,5歳児で年間を通じた縦割グループで泥んこ遊びやハロウィンなど「わくわくデー」として活動を行うなど、自然な形で異年齢の園児同士が関わられるよう工夫している。

改善を要する点

1. 地域との交流

複合施設として、同じ建物内で市の事業である「なかよしルーム（毎日）」や「子育てひろば（月2回）」が行われており、年間を通して協力している。また、保育園を知ってもらうために、夏祭りや運動会など季節の行事を捉えて招待状を地域に配布し、ボランティアの協力を得て実施している。他方、園舎まわりに看板やお知らせボード等が無く、地域に対する様々な案内や情報提供に工夫の余地がある。保育園がもつ地域における子育て支援の拠点としての側面に応えるには、ホームページの充実など日ごろからの情報発信とニーズを受け止める工夫が必要であり、今後の努力が期待される。

2. 会議録、報告書等の書式の整備

指定管理者として2年を経過する中で、以前から引き継いだ仕組みと、指定管理の下で新たに工夫している仕組みにより、子どもを尊重した日々の保育が営まれている。他方、その裏付けとなるマニュアルや書類が体系的に整理されておらず、統合されていない状況が散見される。特に、会議録や報告書の書式が整備されておらず内容も不十分であり、後から記録を確認しやすい工夫が求められる。

評価領域ごとの特記事項		
1	人権への配慮	<p>①園児や保護者への適切な言葉遣いや態度について「子どもの権利の尊重と保障」を職員会議で読み上げ、また自己点検を行うなど周知を図っている。併せて、児童虐待防止に関する外部研修の報告等を行うことで、共通認識をもって保育に取り組んでいる。外国籍の保護者には、すべてひらがなでの記述や、口頭で個別に伝達するなど工夫している。</p> <p>②「個人情報保護に関する方針」を職員会議で読み合わせ、職員の意識の徹底をはかっている。保護者には入園説明会等で説明している。個人情報を含む児童票などの文書類は重要書類として職員室で保管している。</p> <p>③実習生やボランティア、見学者の受入れにあたっては事前に園長が担当として個人情報保護について説明している。また、玄関ロビーに設置の「掲示板」で見学者など来園者について伝えている。</p>
2	利用者の意思・可能性を尊重した自立生活支援	<p>①家庭との連絡・情報交換は、「入園のしおり」で手段・方法を定め、「連絡帳」「出席ノート」「おたより」「園だより」のほか、送迎時に保護者が確認できるように、その日の様子や連絡事項をクラス毎のクラスボードに掲示して保育状況を知らせるなど、連絡を密にしている。</p> <p>②クラス懇談会及び保育参加を年1回実施し、保護者の意見・要望を把握している。個人面談は全園児に年1回実施している。また誕生月の園児の保護者が誕生会に参加し直接保育の様子を知る機会を提供している。</p> <p>③保護者が意見や要望等を出しやすいように「ご意見箱」を設置し、日頃より保護者の希望や意向の把握に努めている。出された意見などについては、職員会議で話し合い、全職員共有のもと適切な対応に努めている。</p>
3	サービスマネジメントシステムの確立	<p>①苦情への対応は「ご意見・ご要望の解決のための仕組みについて」に手順を明記し、苦情受付担当者や苦情解決責任者、第三者委員名を、職員室前及び各クラスに掲示し保護者に周知している。受け付けた苦情は「ご意見・ご要望・相談記録カード」に記し、手順に沿って対応している。</p> <p>②毎日2回クラス毎に温度・湿度をチェックし快適な室内環境を整えている。消毒薬や洗剤等の危険物については「危険物チェックリスト」で、トイレ、保育士室などの清掃については「掃除手順」、園児が触れるおもちゃ、布団、砂場などの衛生管理は「衛生管理票」で定め、週1回すべての備品・設備の点検を行っている。</p> <p>③クラス毎に「健康記録」を備え、体調不良児の記録や保護者依頼の与薬の管理など健康管理を行っている。「園だより」や掲示板「伝染病発生状況」と併せて、園内で流行している感染症の情報を保護者に提供している。</p> <p>④防火・防災については、保育園の建物は学童保育・地域活動室等との複合施設であるため保育園以外の利用者と一緒に、「危機管理マニュアル」に基づき、避難訓練などを年12回、消防署との通報訓練を年2回行っている。防犯対策として不審者への対応について話し合い、全職員が通報・放送・合言葉等に共通の意識を持って研修し周知を図っている。</p>
4	地域との交流・連携	<p>①地域の子育て支援については「比々多保育園 地域支援事業」として位置づけ伊勢原市の事業である「子育てひろば」を毎月2回午前中「なかよしルーム」を平日の午前9時30分から午後3時に協力し実施している。</p> <p>②保育園を知ってもらうために、夏祭りや運動会、・わくわくデー、クリスマス会などの招待状を地域に配布し、地域ふれあい行事として園の行事に地域の子育て家庭の人々が参加できるように計画し実施している。</p>
5	運営上の透明性の確保と継続性	<p>①複合施設のため入り口や正面玄関などが使えず、職員室の前や限られたスペースに工夫し地域へ向けて「園の案内」「子育てひろば」「なかよしルーム」などの案内資料を配置している。</p> <p>②職員全員が年2回自己評価を実施し、業務を振り返る機会を持ち、正面玄関自動扉の施錠など運営の改善につなげている。</p> <p>③「園の保育理念、保育目標、保育方針」を、クラス内や掲示板に掲示し保護者や地域の理解が得られるようにしている。</p>

		④クラス懇談会及び保育参加を年1回実施し、また、園児の誕生月の保護者が誕生会に参加するなど直接保育の様子を知る機会を提供し、保護者の意見・要望を把握している。
6	職員の資質向上促進	①各クラスに「保育理念・保育方針・保育目標」を掲示している。また、「保育課程」に保育の理念や保育目標を明記し、職員会議で読み合わせ周知をはかっている。 ②研修計画は「比々多保育園研修計画」に基づき、内部研修及び外部研修ともに計画し実施されている。 ③外部研修を受講した職員は、職員会議で研修報告を行うとともに、研修報告書をいつでも自由に閲覧できるように研修報告書綴りとして置いている。

2. 評価項目に基づく評価の結果

大項目1 保育環境の整備

評価機関が定めた評価項目に添って、調査を行った結果です

大項目1全体（調査確認事項全80事項）を通してのサービスの達成状況	100%
-----------------------------------	------

大項目1の内容(概要)

1	人権の尊重	子どもや保護者に対する態度や言葉遣い 出生や国籍、性差などによる差別の禁止 子どもの虐待予防や早期発見のための地域の関係機関・団体との連携
2	プライバシー確保	プライバシー確保への配慮 個人情報保護の体制整備
3	家庭と保育園との信頼関係の確立	家庭との連絡、情報交換の体制 家庭の意向・希望の把握
4	苦情解決システム	苦情解決の体制整備
5	環境整備	温度や湿度等の管理 洗剤等の危険物の管理 おもちゃ、遊具等の管理
6	健康管理(感染症対策・救急救命を含む)	体調不良児、けがへの対応 感染症への対応 救急事態発生時の医療機関・家族等との連携
7	危機管理(防災・防犯)	火災や震災等の対応 日常の防災・防犯体制の整備
8	地域の子育て支援	地域内の子育てニーズの把握と支援
9	自己評価と情報開示	自己点検・改善活動の実施 地域への情報提供、情報開示 見学や保育参観の機会の設定
10	職員研修	職員研修の実施 実習生の受入れ、指導

大項目2 保育内容の充実

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>子どもと保育士とのかかわりにおいて、子どもの情緒の安定をはかることや、順調な発育・発達を促すためにどのような取り組みをしていますか</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.子どもの様子に応じて1対1のスキンシップを取り気持ちよく活動に参加できるようにしている。 2.一人ひとりの成長記録(未満児は1か月毎・以上児は3か月毎)を取り、発育発達を促すために保育士間で意見交換をしている。 3.子どもの要求を満たし、心地良さや安心感を持てるように働きかけ、信頼関係を築いている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.1対1の関わりの様子を「平成25年度5月保育計画」「個人別配慮4月」で確認した。遊びに入れない園児に声かけなど工夫している様子を「育児日記」や訪問調査時の子ども達の様子観察で確認した。 2.一人ひとりの成長記録を「育児日記」「個人別配慮」で確認した。保育方法について保育士間で意見交換をしている様子を「クラス会議記録ノート」で確認した。 3.登園時に母親と別れる悲しさを受け止め抱っこして保育している様子を「育児日記」で、安心感を持てるよう声掛けしている事を訪問調査時の午睡での様子観察で確認した。
<p>子ども同士のかかわりにおいて、個の違いを認めあうことや他者と自分を大切にすることを育てるためにどのような取り組みをしていますか</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.日常の中で個々の成長や行動を見逃さず一人ひとりの頑張りや良さを伝え自信につなげている。 2.トラブルの時には互いの話を聞き、気持ちを受け入れながら仲立ちする。 3.制作などでは自由に表現したり友達同士認め合えるような環境づくりをしている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.一人ひとりの頑張りや良さを伝え自信につなげている様子を「3歳児 週案・保育日誌」で確認した。 2.トラブルの時には互いの話を聞き、気持ちを受け入れながら仲立ちしている様子を「3歳児 週案・保育日誌」で、一人ひとりの違いを捉えて声掛けしている事を訪問調査時の昼食時の様子観察で確認した。 3.「自由に表現」している様子を「3歳児 週案・保育日誌」や訪問調査時の掲示されている作品で確認した。
<p>子どもと社会とのかかわりにおいて、人に役立つことの喜びを感じたり、人と関わることの楽しさを味わうことができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.年長児では体操の時に皆の手本になったり、給食の配膳の手伝いなど当番活動をしている。 2.異年齢児交流活動を設け、3・4・5歳児で縦割りのグループを作り、一緒に遊んだり給食を食べるなどしている。 3.日常生活の中で大きい子が小さい子の階段の登り降りを手伝ったり、一緒に散歩に行くなど自然な形で関われるよう努めている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.毎日5歳児が交代で当番についている事を「当番表」「平成21年4歳個人別配慮」や訪問調査時の昼食当番の様子観察で確認した。 2.縦割保育の様子を「2歳児 週案・保育日誌」で確認した。3・4・5歳児での縦割りのグループを「わくわくデーグループ表(平成26年度)」で確認した。 3.日常生活の中で大きい子が小さい子の階段の登り降りを手伝ったり、一緒に散歩に行くなど自然な形で関われるようにしている様子を「1歳児 週案・保育日誌」で確認した。
<p>生活や遊びなどを通して、言葉のやりとりを楽しめるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.1日の生活の中で絵本や紙芝居の読み聞かせの時間を必ず取り、言葉の面白さや楽しさに気付けるようにしている。 2.ごっこ遊びなどを通し簡単な言葉を交わしたり、場面に適した言葉を話すことで様々な言葉を習得し使おうとする気持ちを育てている。 3.挨拶の大切さを知らせるために意識的に月曜の朝、体操時間に挨拶運動を行い習慣づけている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.絵本や紙芝居などで、言葉の面白さや楽しさに気付けるように保育している様子を「育児日記」や訪問調査時の降園前の時間での絵本読み聞かせの様子観察で確認した。 2.簡単な言葉を交わしたり、場面に適した言葉を話すことで様々な言葉を習得している様子を「育児日記」で確認した。 3.挨拶の大切さを伝えるために意識的に保育している様子を「5歳児 週案・保育日誌」や訪問調査時の子ども達の昼食時の様子観察で確認した。

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>生活や遊びなどを通して、話すこと・聞くことが楽しめることや言葉の感覚が豊かになること、自分の伝えたいことが相手に伝わる喜びを味わうことができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 話すことが楽しめるよう標語（聞き方名人・話し方名人）を使い意識できるよう日ごろから心掛けています。 2. 誕生会では自己紹介やインタビューに答え、保護者からお祝いメッセージをもらうなど、伝え合う心地よさを味わえるようにしています。 3. 子どものことばに耳を傾け共感したり、代弁し自分の気持ちが伝わる嬉しさをあじわえるように心掛けています。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 標語（聞き方名人・話し方名人）を使い、話すこと・聞くことが楽しめることや言葉の感覚が豊かになるよう保育している様子を「5歳児の写真」や訪問調査時の保育の様子観察で確認した。 2. インタビューの様子を「5歳児 週案・保育日誌」で、言葉で伝え合っている様子を「平成25年度8月保育計画1歳児もも組」や訪問調査時の降園の様子観察で確認した。 3. 保育士が子どものことばに耳を傾けたり、代弁している様子を「育児日記」や訪問調査時の保育の様子観察で確認した。
<p>生活や遊びなどを通して、楽しんで表現することができるようにすることや表現したい気持ちを育むためにどのような取り組みをしていますか</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 絵本や紙芝居を通し、子ども自身がイメージを膨らませ、物語の世界を楽しめるように読み方を工夫している。 2. 劇遊びでは、小道具を自分たちで作ったり、役について意見を出し合ったりする経験をしながら自由に表現することを楽しめるようにしている。 3. 日々の様々な場面の中で、感情を自由に表現できるよう子どもと同じ目線に立ち気持ちを共有している。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 絵本や紙芝居を通し、イメージを膨らませ、物語の世界を楽しめるように読み方を工夫している様子を「平成25年度11月保育計画2歳児たんぼぼ組」や訪問調査時の保育の様子観察で確認した。 2. 劇遊びで、役について意見を出し合っている様子、小道具を自分たちで作っている様子を「4歳児 週案・保育日誌」で確認した。 3. 感情を自由に表現できるよう子どもと同じ目線に立って保育している様子を「4歳児 週案・保育日誌」や訪問調査時の保育の様子観察で確認した。
<p>生活や遊びなどを通して、自発的に表現する意欲を育むことやみんなで一緒に表現する喜びを味わえるようにすること、創造的に表現することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 3歳以上児では、月に1度専門の講師による体育教室や音楽教室に参加し、運動会や生活発表会で表現する場を設けている。 2. 1日の生活の中で自然の変化に気付き、見たり触れたりしながら個々のイメージを膨らませ歌や制作活動を楽しめるようにしている。 3. 園行事を通して、友だちと励まし合ったり皆で一つのものを作り上げた達成感を味わえるようにしている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 体育教室・音楽教室の様子を「平成25年度5月保育計画4歳児れんげ組」「5歳児 週案・保育日誌」で、運動会の実施を「2013年度比々多保育園運動会演技（組体操）」で、専門講師の来園を「ふれあい遊び」で確認した。 2. 自然の変化を話題にしている様子、歌や制作活動の様子を「5歳児 週案・保育日誌」で確認した。 3. 行事で皆で一つのものを作り上げている様子を「4歳児 週案・保育日誌」で、達成感を味わっている様子を「平成25年度12月保育計画4歳児れんげ組」で確認した。

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>生活や遊びなどを通して、聞く・見るなど感覚の働きを豊かにすることや身体を動かす楽しさを味わうこと、身近なものに対する興味や関心を引き出すためにどのような取り組みをしていますか</p>	<ol style="list-style-type: none"> 朝の体操や日々の生活の中で音楽やリズムに合わせて体を動かしたり手遊びを楽しむ等の環境を整えている。 右脳を育てるためにフラッシュカードや瞬間遊びを取り入れ集中力を高められるよう働きかけている。 新聞紙などの様々なものを用意し遊びの幅を広げたり、個々に表現することを楽しめるようにしている。 	<ol style="list-style-type: none"> 体を動かしている様子を「平成 25 年度 9 月保育計画 0 歳児いちご組」で確認した。日常の保育の中で音楽やリズムに合わせて体を動かしている様子を「5 歳児 週案・保育日誌」で確認した。 フラッシュカードを遊びとして取り入れている様子を「5 歳児 週案・保育日誌」で確認した。 新聞紙などの様々なものを用意し遊びの幅を広げている様子を「2 歳児 週案・保育日誌」や訪問調査時の保育の様子観察で確認した。
<p>生活や遊びなどを通して、身近な様々なものに対する探索意欲を満足させることや社会や自然の事象や、動植物への興味や関心をもてるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<ol style="list-style-type: none"> 自然環境に恵まれた地域性を生かし、自然物に触れられるよう散歩に行く機会を多く設けている。 毎年、年長児を中心に野菜作りを行い日々育っていく過程を観察している。 園庭の木々を観察したり桜の木に実った「さくらんぼ」を砂場遊びに取り入れている。 	<ol style="list-style-type: none"> 自然物に触れられるよう散歩に行く様子を「2 歳児 週案・保育日誌」「3 歳児 週案・保育日誌」「平成 26 年度園外保育状況」で確認した。 野菜作りを行い日々育っていく過程を観察している様子を「野菜の栽培記録」「野菜の観察日記」で確認した。 桜の木に実ったさくらんぼを砂場遊びに取り入れている様子を「2 歳児 週案・保育日誌」で確認した。園庭の木々を観察している様子を「平成 25 年度 11 月保育計画 5 歳児ひまわり組」で確認した。
<p>自分から食べようとする意欲を育んだり、排泄をしようとする意欲を育むためにどのような取り組みをしていますか</p>	<ol style="list-style-type: none"> ままごと遊びやクッキングを通して、食に対する意欲をもてるようにしている。 年長児を中心に月に 1 度栄養士による紙芝居の読み聞かせなど栄養指導を行い、食への知識が広がるようにしている。 排泄に関しては保育士同士連携を取り合って個々に対応し、一人ひとりの排尿間隔や状態を把握している。 	<ol style="list-style-type: none"> クッキングを通して食に対する意欲をもてるようにしている事を「栄養指導計画書（実施記録）」で確認した。 栄養指導としてトウモロコシの皮むきの様子を「5 歳児 週案・保育日誌」で確認した。年長児を中心に月に 1 度栄養士による紙芝居の読み聞かせをしている様子を「栄養指導実施内容（平成 26 年度）」で確認した。 排泄の様子の記録を「育児日記」で確認した。
<p>身の回りのことを自分でしようとする意欲を育むことや基本的な生活習慣を身につけること、食事や休息の大切さを理解することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<ol style="list-style-type: none"> 2 歳以上児は夏の間熱中症予防のため、水筒を持参しこまめに水分補給をしたり休息をとれるようにしている。 午睡前には、絵本の読み聞かせをし落ち着いた静かな環境を整え、入眠しやすいように心掛けている。 自分の荷物を整理しやすいよう、ロッカーやタオル掛け等に名前や目印をつけて、自分の場所を明確にしている。 	<ol style="list-style-type: none"> 園外保育を実施した時に、水筒を持参しこまめに水分補給をしたり休息をとっている様子を「行事計画」で確認した。 午睡前に絵本の読み聞かせをして落ち着いた静かな環境を整えている事を「1 歳児の写真」や訪問調査時の保育の様子観察で確認した。 ロッカーやタオル掛け等に名前や目印をつけて自分の場所を明確にしている様子を「平成 25 年度 4 月保育計画 2 歳児たんぼぼ組」や訪問調査時の保育の様子観察で確認した。

大項目3 保育園の特徴

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事業所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>子どもの豊かな心と身体をはぐむための特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.月1回の体育教室・音楽教室・ベビーマッサージを行っている。 2.毎朝の体操とマラソン(リレー)を行っている。 3.年数回・3歳児以上児を中心のわくわくデーという異年齢交流の機会を設けている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.月1回の体育教室・音楽教室の実施を「平成26年度体育教室・音楽教室日程」で確認した。ベビーマッサージの実施を「ベビー・マッサージ日程表平成26年度」で確認した。 2.毎朝の体操、マラソンとマラソンリレーを行っている様子を「朝のマラソン・体育風景(写真)」で確認した。 3.3歳児がわくわくデーに参加している様子を「3歳児週案・保育日誌」「わくわくデー(わくわくオリンピック)」で確認した。
<p>保育環境に特別な配慮を必要とする子ども(長時間保育、障害児保育、乳児保育、外国籍園児)の保育に関しての特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.長時間保育の時間帯に、専門保育士を配置している。 2.延長保育でも、コーナー遊びなどを行っている。 3.国籍に関係なく個々を尊重している。(保護者に関しては連絡帳などひらがなをふる・口頭で個別に伝えるなど) 	<ol style="list-style-type: none"> 1.長時間保育の専門保育士を配置している事を「職員配置図平成26年度」「平成26年度パート出勤簿」や訪問調査時の延長保育の様子観察で確認した。 2.延長保育で塗り絵コーナー、パズルコーナー、ブロックコーナーなどのコーナー遊びで保育している様子を「延長保育の様子(写真)」で確認した。 3.連絡帳がひらがなで記述されている様子を「育児日誌」で確認した。年齢毎の障がいや疑われる子どもの人数、及び保護者の養育能力に配慮が必要な子どもの人数を「障害児保育等の現状調査票」で確認した。
<p>健康管理に特別な配慮を必要とする子ども(アレルギー疾患をもつ園児、乳児保育、病後時保育など)の保育に関しての特徴的な取り組み(アレルギー食対応、個別食、離乳食など)について説明してください</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.アレルギー疾患児には除去食・代替え食を提供している。アレルギー食を提供するときは食器の色(黄色)を変えている。 2.お腹の調子の悪い子等は保護者の申し出によりできる限りの対応をしている。 3.離乳食・アレルギー疾患児には、専用の献立表を個別に配布し、食材を確認できるようにしている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.除去食・代替え食を提供している事を「乳製品・卵完全除去〇〇さん週間献立予定表」「除去食提供例(写真)」や訪問調査時の給食提供の様子観察で確認した。アレルギー疾患児の人数と内容を「平成26年度除去食一覧表」で確認した。 2.調子の悪い子等の保護者からの申し出を「依頼書」で確認した。また、それに対応をしている事を「職員会議(議事録)」で確認した。 3.離乳食献立表を「離乳食献立表」で、アレルギー疾患献立表を「分乳製品・卵完全除去」で確認した。食材を確認できるようにしている事を「給食で使用している産地について」で確認した。
<p>食に関しての特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.食材の産地を掲示し、明確にすることで保護者に安全な食材が提供されていることを知らせている。 2.野菜の栽培・収穫を体験し、行事(クッキング)に取り入れる等食への親しみや意欲をもてるようにしている。 3.とうもろこしの皮むきをする等して、食材のままの形や感触・匂いを感じ、自分で手掛けたものを味わえるようにしている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.食材の産地を保護者に知らせている事を「給食で使用している産地について」や訪問調査時の様子観察で確認した。 2.野菜の栽培・収穫を体験している様子を「平成26年度5歳児食育ノートより」「野菜の収穫の様子(写真)」で、また訪問調査時に畑を確認した。 3.とうもろこしの皮むきをしている様子を「とうもろこしの皮むきの様子(写真)」で確認した。

項目	事業所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>家庭とのコミュニケーションに関する特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 0・1歳児には連絡帳、2歳児以上はホワイトボードに1日の様子を記載している。園と家庭間で必要な連絡事項は「伝言メモ」を用いて、職員間の伝達漏れを防ぎ、保護者には口頭で伝達している。 2. 懇談会・個々面談を年に1回ずつ実施し、園や保護者間での情報交換の場を設けている。 3. 毎月の誕生会を自由参観日にし、5歳児誕生児の保護者を対象に試食会を行い、クラスで子どもとともに食べている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 連絡帳の記載を0歳及び1歳児「育児日誌」で確認した。2歳児以上はホワイトボードで1日の様子を伝えている事を「ホワイトボード(4歳児)」で、伝言メモによる家庭との連絡を「伝言メモ(ちゅうりっぷ組)」や訪問調査時の様子観察で確認した。 2. 懇談会の開催を「(懇談会)反省改善点」で、個々面談の実施を「個々面談報告書」で確認した。 3. 毎月の誕生会を自由参観日にしている事を「平成26年度年間行事計画」で確認した。試食会を開催している事を「試食会のお知らせ」「5歳児週案・保育日誌」で確認した。
<p>地域の子育て支援に関する特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公民館からの依頼を受け、幼児家庭教育学級の「親子遊び」を担当している。 2. なつまつりや運動会に地域の子どもを招待し、参加できる場を設けている。 3. 市からの依頼を受け、子育てひろばの開催(月2回)、子育て支援スペースと園庭の開放(平日)を行っている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公民館館長名で講師の依頼を「比々多公民館『幼児家庭教育学級』の講師について(依頼)」で、講師の派遣を「比々多公民館幼児家庭教育学級開催要項」で確認した。幼児家庭教育学級の『親子遊び』の様子を「平成24年6月記録」で確認した。 2. 夏祭りなどに地域の子どもを招待している事を「なつまつりのご案内」「子育てひろばへようこそ」で、その様子を「夏祭りの写真」で確認した。 3. 子育てひろばを月2回開催している事を「平成25年度事業報告書」で、その様子を「写真」で確認した。相談を受けた状況を「子育てひろばの記録」で確認した。

3. 利用者への調査

～ 保護者アンケート調査を実施した結果です ～

(1) 調査の状況

調査期間	平成 26 年 8 月 6 日 ～ 平成 26 年 9 月 25 日
調査方法	所定の調査票（アンケート票）により実施した。
調査対象者の匿名化	調査は無記名で行い、調査結果から回答について個人が特定化される場合は、評価機関で匿名化を図った。
アンケート調査票の配布	対象者には事業所を経由して調査票を配布した。
アンケート調査票の回収	記入済みの調査票は対象者から直接、評価機関に郵送された。
回収の状況	調査票配布数 68 通 : 返送通数 51 通 : 回収率 75%

(2) 調査結果の傾向

◆アンケート調査全体の傾向

- 園の保育方針、保育内容について、「知っている」（よくわかる・まあまあわかる）75%、知らないが（あまりわからない・わからない）25%となっている。
- お子さんの個別の事情（アレルギー・家庭の事情）について、「相談しやすい」73%、「やや相談しにくい」「相談しにくい」16%となっている。
- 園との十分な意見交換について、「十分である」67%に対し、「やや不十分である」33%、「不十分である」0%となっている。
- 遊具の清潔や安全面の配慮について、「配慮が感じられる」63%に対し、「少し心配がある」25%、「心配がある」8%となっている。
- 不審者侵入防止などの防犯対策について、「安心が感じられる」33%に対し、「少し心配がある」51%、「心配がある」12%となっている。
- 事故や災害時の連絡体制について、「安心が感じられる」59%に対し、「少し心配がある」31%、「心配がある」4%となっている。
- 園の良いところとして、「先生たちの笑顔が良い」「園内がきれい」「色々な経験（遊び）させてくれるところ」「こどもがのびのびと通えているところ」「給食もおやつも充実している」「読み聞かせをたくさんしてくださり、子どもも本が好きになった」「体操教室、音楽教室があるので子どもの視野が広がって良い」「他年齢の園児とも触れ合える機会があるので良い経験も悪い経験もあり、子どもの成長につながる」があがっていた。
- 改善して欲しい点として、「防災の引き取り訓練の開始時間を遅くしてほしい」「遊具が少ない」「園での子どもの様子をもう少し教えてほしい」「外遊びを増やしてほしい」「プールが欲しい」などがあがっていた。
- その他として、「120人近くの子どもたちがいるので、いろんな子どもたちを見ることができて育児の参考になります」という意見もあった。